

学会 彙 報

(二〇〇四年六月)

二〇〇五年十月末)

◇二〇〇四年度に提出された修士論文・卒業論文は次の通りです。

一、大学院修士論文

二、文学部卒業論文

※論文名・氏名 リポジトリ非公開

※論文名・氏名
リポジトリ非公開

※論文名・氏名
リポジトリ非公開

仏教学会活動報告

◇研究発表例会

十一月十日（水）午後四時十分より

於尋源講堂

「Yogasūtra 第三章に関する一考察」

博士後期課程第三学年 村田 裕美

「初期瑜伽行派による極微説批判」

本学教授 兵藤 一夫

◇新入会員歓迎会

四月二十三日（金）午前十時四十分より

於 メディアホール

「仏教を学ぶということ」

仏教学会会長 本学教授 兵藤 一夫

◇研究発表例会

六月九日(木) 午後四時十分より

於 尋源講堂

「Aditajatakaの偈(ご)について—大谷大学

図書館所蔵貝葉写本：Pāṇṇasajātaka

から—」

博士後期課程第三学年 村西 弘行

「無着と世親の修道論の差異—意見を

めぐって—」

博士後期課程第三学年 都 真雄

二〇〇五(平成一七)年度

仏教学関係講義題目

一、文学部仏教学科

概論 仏教学概論 教授 一郷 正道

仏教学概論 教授 一色 順心

講義 初期仏教(阿含・ニカーヤ)

教授 吉元 信行

アビダルマ仏教

助教授 加治 洋一

大乘經典 講師 箕浦 暁雄

中・後期インド仏教思想

講師 赤松 明彦

中観思想史 教授 一郷 正道

インド哲学 講師 後藤 敏文

中国仏教(受容期)

教授 荒牧 典俊

中国仏教(展開期)

助教授 織田 顕祐

天台思想 助教授 山野 俊郎

鎌倉仏教 講師 藤谷 昌紀

インド仏教における浄土思想

講師 小川 一乗

実践研究 初期經典を読む

助教授 加治 洋一

般若経を読む

講師 櫻井 智浩

浄土經典を読む

教授 兵藤 一夫

維摩経を読む

講師 藤谷 昌紀

法華経を読む

講師 采祝 晃

『宝行王正論』を読む

講師 櫻井 智浩

サンスクリット購読(中級)

講師 梶原三恵子

パーリ語文献演習

助教授 加治 洋一

サンスクリット語文獻演習

助教授 山本 和彦

チベット語文獻演習

教授 白館 戒雲

二、大学院仏教学専攻

講義 空思想の理解 教授 一郷 正道

文獻研究 サンスクリット文獻の読解

—Aṣṭasāstraika Prajñāpāramitā (『八千頌般若経』)

教授 兵藤 一夫

サンスクリット文獻の読解

—Abhidharmakośabhisya (『俱舍論』)

教授 兵藤 一夫

『撰大乘論』に基づいて瑜伽

行唯識思想を理解する

教授 小谷信千代

大乘阿毘達磨集論

教授 吉元 信行

演習 カマラシーラの思想研究

教授 一郷 正道

中国仏教思想の研究

教授 一郷 正道

教授 木村 宣彰

インド哲学基本文献の原典読解

教授 荒牧 典俊

Mahāparinibhānasūta — 諸

本・諸異訳・諸注釈の文献的対照

研究 — 教授 吉元 信行

アビダルマ及び唯識思想の研究

教授 小谷信千代

仏教学研究

講義

後期仏教認識論・論理学の研究

講師 赤松 明彦

インド仏教における浄土思想

講師 小川 一乘

インド学研究

ヴェーダからウパニシャッドへ

講師 後藤 敏文

仏教学研究（文献研究）

天台智顛の法華思想

助教授 山野 俊郎

チベット語文献の読解力を深める

教授 白館 戒雲

『華嚴五教章』を読む織田 顕祐

仏教の思想 教授 木村 宣彰

編集後記

『仏教学セミナー』第八十一号をお届けします。

本号には、論文三篇、講演筆録一篇、海外ニュース一篇の合計五篇を掲載することができました。

宮治昭先生には、昨年十二月七日に本学響流館で行われた、ガンダーラ美術と大乘仏教に関するご講演の筆録を掲載していただきました。スライドを用いてガンダーラの仏教美術を分かりやすく説明して下さり、教員は言うに及ばず、出席した学生諸君たちにも大変好評であった。参加できなかった学生諸君も本号では非とも先生の講演録をお読みいただきたいと思えます。

巻頭の小谷論文は新説をこそ良しとする研究動向に警鐘をならすものです。新奇をねらうあまり珍説に陥ることがおもうようにしてあります。最近、修士論文の梗概発表会等でその種の説を耳にすることが多くなりました。これまでの本学の仏教学会ではあまり経験しなかったことです。わたしたちは地道に着実に仏教学

の正道を歩んで行きたいと思えます。

本年三月で任期制助手の任務をおえられた藤谷昌紀氏には、その間になされた漢訳仏典に関する研究成果をまとめていただきました。現在任期制助手を勤めておられる清水洋平氏と博士後期課程三年に在学中の村西弘行氏にはタイ国の仏教説話に関する報告をしていただきました。今後も新進の研究者の方々の論文を取り上げて行く所存です。荒牧典俊教授には法性分別論の還元梵語のテキストを寄稿していただきました。本論の成立に関しては松田和信仏教大学教授の「初期唯識文献ではない」とする説が現在学会のおおかたの認める所です。本論を研究しようとする学生諸君は是非とも松田教授の「*Nivāṇakāpṛaveśa* 再考—特に「法性分別論」との関係について—」（『印仏研』311）を一読されることをお勧めします。

なお、前年度の修士論文と卒業論文の題目と、今年度の仏教学科の開講科目一覧とを学会彙法に掲載しました。

（〇生記）